

文化施策の評価方法の検討

●前回会議(H28.12.19)での委員からの意見を踏まえた評価指標・評価シートの修正

前回会議での委員からの主な意見

(1)評価指標について

- ・該当する基本施策だけでなく、全ての基本施策との関連性が分かるようにすべきでは。
- ・画一的な事業である必要はなく、どちらかという多様であることの方が価値がある。
- ・「4 市民との関わり」欄の幅が広く、他の評価指標より重要視しているように見える。

(2)評価シートについて

- ・総合評価まで振興会議委員が行うのは難しい。総合評価ではなく提言に留めるのであればできそうな気がする。



委員からの意見を踏まえた修正点

(1)評価指標について

- ・他の基本施策との関連性の有無を分かりやすくするため、「5 効果」の「(1)波及効果」を削除し、「1 基本施策との適合」に「(3) 他の基本施策への波及」を追加。
- ・他の評価指標と同等に見えるように、「4 市民との関わり」の各項目の記載を分かりやすくまとめた。

(2)評価シートについて

- ・総合評価をやめ、2次評価までとする。ただし、2次評価シートの最後に「提言」欄を追加し、委員から事業の今後の方向性（継続・改善・見直し）や今後の事業実施に向けての意見やアドバイスをいただきたい。

●今回試行的に評価を実施する事業（2事業）

<メディア芸術振興事業>

【基本施策 1】文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」

(1)多様な文化芸術イベントの開催

実施主体：メディア芸術振興事業実行委員会

※実行委員会のメンバーに千葉市含む

<スタートアップチャレンジ事業>

【基本施策 3】文化芸術を育む場を「支える」

(2)活動しやすい環境の整備

実施主体：公益財団法人千葉市文化振興財団

※千葉市文化センター指定管理者による企画提案事業

●今回の評価の流れ

①実施主体から1次評価シート（評価指標に基づいた自己評価）の説明



②2次評価シートを作成するための委員による討議

- ・2次評価シートの評価指標毎に、各評価をまとめ、最後に提言をまとめる。

※まずは、①～②を2事業分実施



③評価方法の検討

- ・実際に評価してみて、評価方法に改善点があるか（評価の流れ、評価指標、評価シート等）
- ・評価にあたり必要な情報が揃っていたか
- ・委員による事業視察は必要か ※評価対象事業が複数回実施される場合、どの程度視察する必要があるか等